

自分ごと化会議

私に関係ある？ ある！

～会議概要と振り返り～

大刀洗町住民協議会

第4回資料

JAPAN
INITIATIVE
構想日本

目的

- 協議テーマについて、生活実感を基に具体的に考え、解決策を提案する
- 政治や行政任せにせず、住民自らが「自分ごと」として意見を出し合う

ポイント

1. 「無作為抽出された住民」が委員となり議論する

これまで行政との接点がなかった人も含め、幅広い層の住民参加が期待されます。

2. 「普段の生活実感」をもとに議論する

行政が用意したシナリオではなく、参加者の生活実感を基に議論することで、住民生活における生の声を拾うことができ、より具体的な提案が期待されます。

3. 「自分でできること」から考える

行政への要望に終始せず、まず自分でできること、身近なコミュニティでできることから考えることで、町づくりを「自分ごと」として捉えるきっかけとなります。

協議テーマ

歴史ある住宅と城址（しろあと）の未来

- 佐々木家住宅（三原城址）の町における位置づけ、活用方法を考える。
- 一連の議論を通して、自分や身近なコミュニティにどう影響してくるのか、町の課題とどう関係してくるのか考えることで、まちづくりを「自分ごと」として捉えるきっかけとする。

日程等

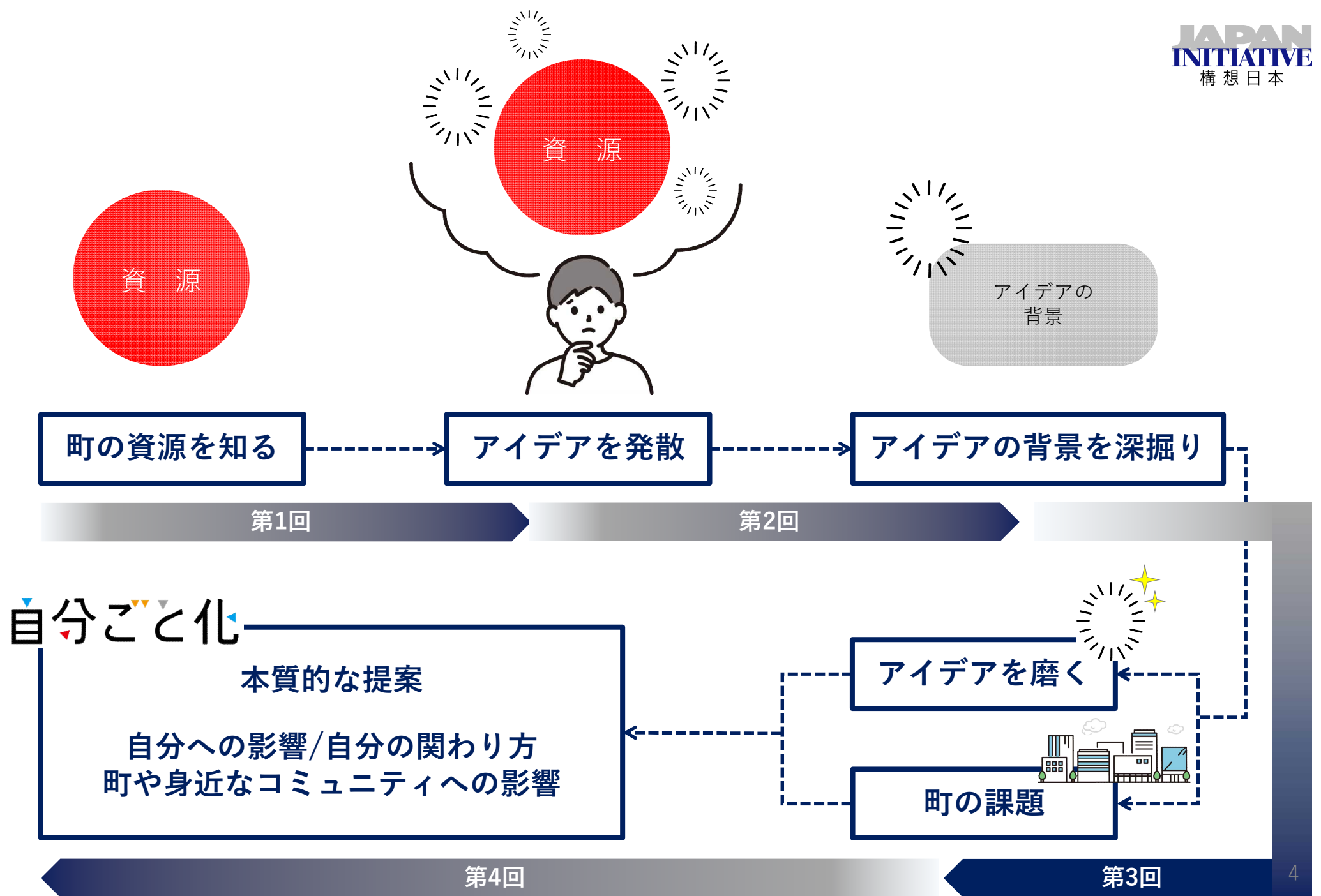
回	日時等
第1回	11月27日（日）13時～16時（現地見学含む）
第2回	12月11日（日）13時～16時
第3回	1月15日（日）13時～16時
第4回	2月19日（日）13時～16時
報告書	3月とりまとめ予定

2022年度

大刀洗町

自分ごと化会議

会議の
進め方



実際に見た佐々木家住宅（三原城址）の印象

■建物の雰囲気について

- 重厚な感じ
- 外から見ると入りづらさを感じる
- 空気感が違う/凛とした感じ
- 外の音が聞こえずとても静かで素敵な空間
- 外と切り離された別世界
- 庭がきれい/四季の変化を楽しめそう

■知名度や周知について

- 小学校の校歌に出てくるのに、実物を見たことがなかった。
- 町の子どもたちに知ってほしい。
- 地域の方にもっと周知されたいと思う。

(参考：佐々木家住宅を知っていた?)

- 知っていた : 24%
- 知らなかった : 76%

※第1回アンケートより一部抜粋



まずは住民に知ってもらい、
住民のための施設として考えるイメージに近い。
徐々に他の地域にも利用が広がっていくとよい。

保存や活用の意義（残すことの意義）について

■佐々木家住宅の保存活用を協議する経緯

- これまで個人所有だったが管理が難しくなってきた
- 町としての意思決定はされていないが、町長は残したい思いがある

■住民にとって必要かどうか

- 「大刀洗町といえば〇〇」が思いつかない。
- 大刀洗町を他の町の人に紹介するときはどう紹介したらよいか迷う。新しく転入してきた人は特にそうかもしれない。
- 佐々木家住宅が持つ歴史的な背景や文化的な価値は「大刀洗町らしさ」につながるかもしれない。
- 町らしさがはっきりすると町への思い入れも芽生える？

必要



佐々木家住宅/三原城址の

歴史的背景、文化的価値 ⇒ 町らしさ/町への思い入れ ⇒ 住み続けたい町

ナビゲーターからの助言（福岡女学院大学 非常勤講師 片岡氏）

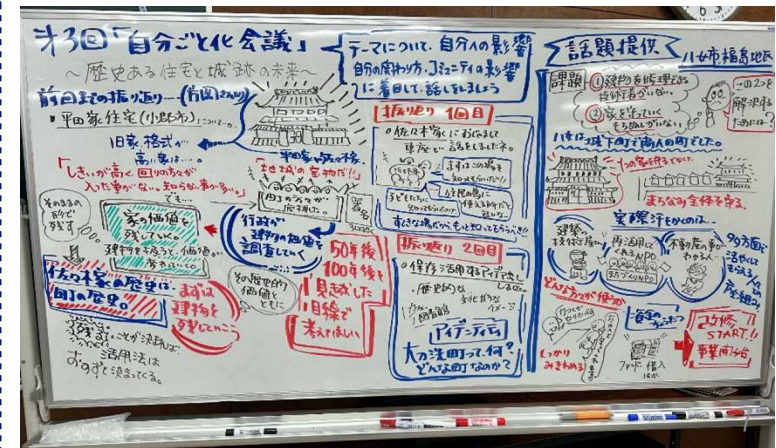
■ 佐々木家の歴史は町の歴史

- 旧家など格式の高い家は敷居が高く感じられ、周りの人からすると少し距離感を感じるが、佐々木家の歴史は、本郷の歴史そのものであり、町の歴史とも深く紐づいている。
- 建物が立派だから価値があるというわけではなく、佐々木家住宅が町や地域の歴史と紐づいているから重要と言えるのではないか。

第3回 振り返り

■ 先を見越した目線で考える

- まずは建物を残すことに意義がある。
- 小郡市の平田家住宅の事例でも、当初は、カフェや宿泊施設など様々な意見が出たが、結局「建物の意味を残す」という方向に議論が収束していった。
- 50年後、100年後を見越した視点で考えてほしい。



ナビゲーターからの助言（NPO法人まちづくりネット八女 北島氏）

■町並みとして面で捉えて修景

- 町や地域を面で捉えて町並み全体を守る
- 1つの町家が潰されれば町並みの価値が1つの町家分下がる
- 建物自体をどうするかに加えて、本郷自体をどうするかを考えることも重要ではないか



■多様な主体がそれぞれの得意分野を活かして協力

- 空き家情報の提供や住民の意見収集を担う「住民組織」
- 地元の町並みデザインを考慮しながら建物の設計や施工を行う「地元の建築集団」
- 移住希望者などのサポートを行う「まちづくり団体」 など多様な主体が連携してまちづくりを推進

保存活用アイデア

■アイデアの性質による整理

(共通する性質)

- 歴史的、文化的なイメージ

(提案ごとに異なる性質)

- くつろぎ/癒し
- 遊び/刺激
- 学び/学習
- 消費/買い物/食
- 創作



具体的
アイデア
振返り

■くつろぎ/癒し

提案内容	影響	関わり方
【宿泊】 キャンプ場、グランピング施設、温泉施設、居住型のホテルなど	(自分たち) • 大刀洗町ってどんなところと聞かれたときに説明しやすくなる	(自分たち) • 存在意義を周知する • 地域一体となって魅力度アップの取組に協力
	(町) • 観光地化することで交通量が増える	(行政、民間事業者など) • 町の事業で一定量を活用する • 周辺地域との連携 • 駐車場の整備 • 指定管理制度の活用
	(備考) • サービス利用者が維持費を賄う仕組みが必要	

■学び/学習

提案内容	影響	関わり方
【歴史、資料、そのままの状態】 歴史資料館、そのままの状態を残した資料館、本郷町のツアー	(自分たち)	(自分たち) • 町の歴史に関心を持ってもらうよう身近な人に話す • PR活動に協力する • 清掃などちょっとしたボランティア活動に協力する
	(町) • 大刀洗町のことを知る人が増える	(行政、民間事業者など)
	(備考) • 東本郷の方の意見も聞いてみたい	

保存活用アイデア

■現状からの変化幅による整理

(具体案)

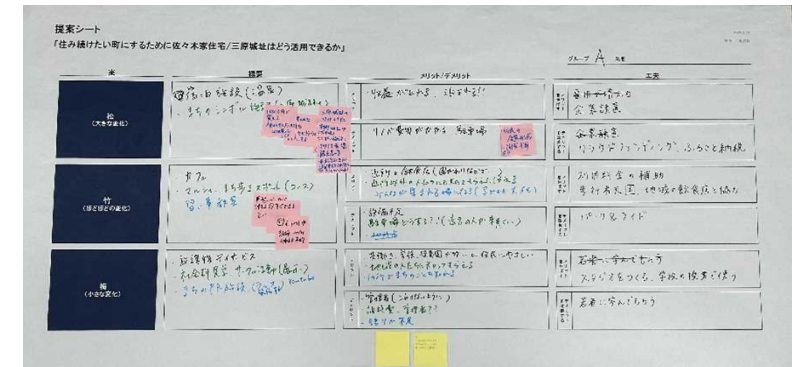
- 町のPR施設/歴史資料館
- 社会科見学

(具体案)

- 子どもたちを中心に異文化交友できる施設/ホームステイ施設
- 子どもたちが遊べる小さな公園

(具体案)

- 宿泊施設/セカンドハウス
- 佐々木家前の通りなど本郷地区全体を変えるリノベーション



具体的 アイデア 振返り

梅

(小さい変化)

(メリット)

- 地域の人たちに町のことを知ってもらえることができる

(デメリット)

- 語りべが不足している

竹

(メリット)

- 子どもが集まる
- 地元の文化を知らながらグローバルな視野も持てる

(デメリット)

- 騒音や破損が心配

松

(大きい変化)

(メリット)

- 収益を得られる
- 移住者や町外からの来客増加
- 町並みを整えると町の価値が高まる

(デメリット)

- 費用がかかる
- 地域住民の合意形成

レジュメ（概要）

【振返り】

- ① 自己紹介
- ② グループで前回の振返りをする

【グループ協議】

1. 佐々木家住宅/三原城址を「面」や「線」で捉えて考えてみる

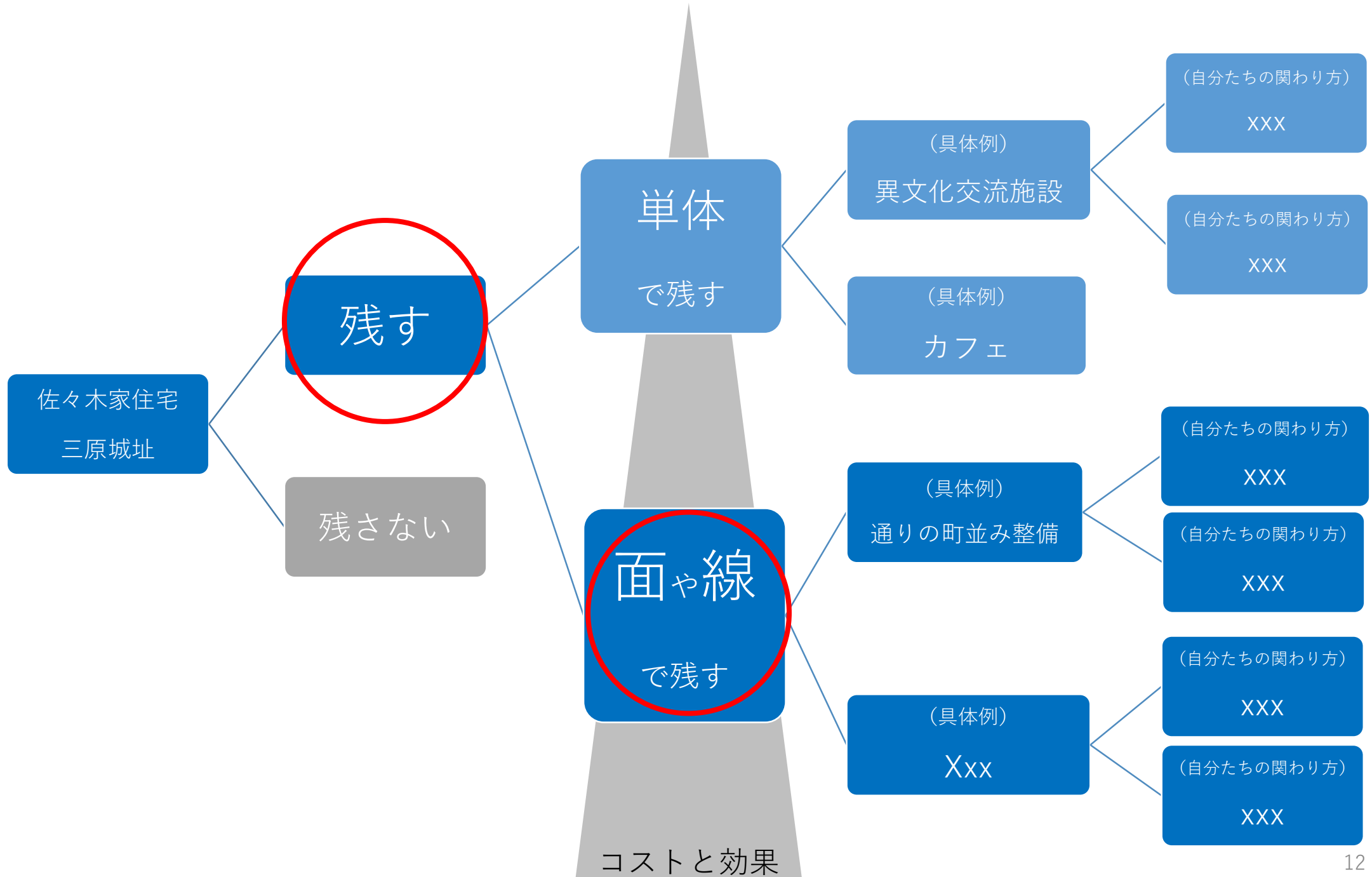
- ① グループ内で以下の内容を例に意見交換
 - ・ 佐々木家住宅/三原城址を「本郷の町並み」として次世代に残したいと思うか
 - ・ 本郷の町並みをどんなエリアとしたいか、その中で、佐々木家住宅/三原城址はどういった役割を果たすか
 - ・ 本郷というエリアを超えて、結びつけられる町の他の資源はあるか
 - ・ 「面」や「線」で佐々木家住宅/三原城址を捉えたときにどのような課題があるか
- ② グループの意見をまとめて全体に共有する

2. 自分たちに何ができるか考える

- ① 協議1を踏まえ、自分たちで何ができるか改善提案シートに各自まとめる
- ② グループ内で各自の意見を共有する
- ③ 全体にグループでの議論を共有する

前回ナビゲーターから示された「面で捉える」という視点で佐々木家住宅/三原城址を考えてみましょう

第4回 立ち位置



グループ協議 1

① 佐々木家住宅/三原城址を「面」や「線」で捉えて 考えてみる

- 佐々木家住宅/三原城址を「本郷の町並み」として次世代に残したいと思うか
- 本郷の町並みをどんなエリアとしたいか、その中で、佐々木家住宅/三原城址はどういった役割を果たすか
- 本郷というエリアを超えて、結びつけられる町の他の資源はあるか
- 「面」や「線」で佐々木家住宅/三原城址を捉えたときにどのような課題があるか

② 全体に議論の内容を共有

(大判ポストイット)

グループ協議 2

- ① 協議 1 を踏まえ、自分たちで何ができるか改善提案シートに各自まとめる
- ② グループ内で意見を共有
- ③ 全体に議論の内容を共有

改善提案シート

名前： _____

グループ協議1を踏まえて、佐々木家住宅/三原城址を「面」や「線」で捉えたときにどんな課題があり、自分たちでどんなことができるか考えてみましょう

■課題と私たちにできること

課題	私たちにできること
(ここに課題を記入する)	(私にできること)
	(地域や身近なコミュニティにできること)
	(行政にできること)
課題	私たちにできること
(ここに課題を記入する)	(私にできること)
	(地域や身近なコミュニティにできること)

「面」や「線」で捉えたときの課題について記載

記載した課題に対して

- 私にできること
- 地域でできること
- 行政にできること